A vertical decorative element on the left side of the slide, consisting of a light gray grid with scattered colored squares in orange, green, and blue.

2018年12月期 決算説明会

2019年2月27日

株式会社C&Gシステムズ
東証二部:6633



目次

1. 会社概要	… 3
2. 2018年12月期決算概要	…12
3. 中長期事業方針	…19
4. 2019年12月期通期業績見通し	…25
5. 株主還元について	…29

1. 会社概要

会社概要

■ 会社概要

商号	株式会社C & Gシステムズ(6633)
事業内容	金型向けCAD/CAMシステムの 開発・販売・サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 (2018年度 実績)	売上高：40億66百万円 営業利益：2億30百万円
事業所	国内6拠点 (東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国 [金型製造]) 海外総代理店(韓国/中国/台湾)
連結社員数	245名

■ 国内外ネットワーク

【東アジア】
(各国代理店)

韓国: IGPNET社
中国: Shanghai C.J
System
Technology社
台湾: Createwell社

【アセアン】

タイ: CGS ASIA(子会社)
インドネシア
テクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシアテクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部

【北米】

カナダ:
CGS CANADA
(子会社)

【金型製造事業】

アメリカ:
Tritech
International, LLC



東京本社



北九州本社



沿革

	旧コンピュータエンジニアリング(CE)社	旧グラフィックプロダクツ(GP)社
1978年	CE社の前身である株式会社西部周防 設立(1983年「コンピュータエンジニア リング株式会社」に商号変更)	
1981年		GP社設立
1997年		GP社株式店頭(現・東証JASDAQ市場)上場
2007年	CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社(α HD: 当社)設立	
2010年	CE社およびGP社を α HDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行	
2017年	東証JASDAQ市場から東証二部に市場変更	

社是、経営理念および成長戦略テーマ

- 社是 「生産性の限界に挑戦する」
- 経営理念 「技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」
- 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」

「金型用CAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す



回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業

Ⅱ

金型向けCAD/CAM市場におけるトップ企業

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内:6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機
 三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック 高城精機 エスバンス
 パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機
 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 ホンダエンジニアリング
 アルプス電気 ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外:1,000事業所

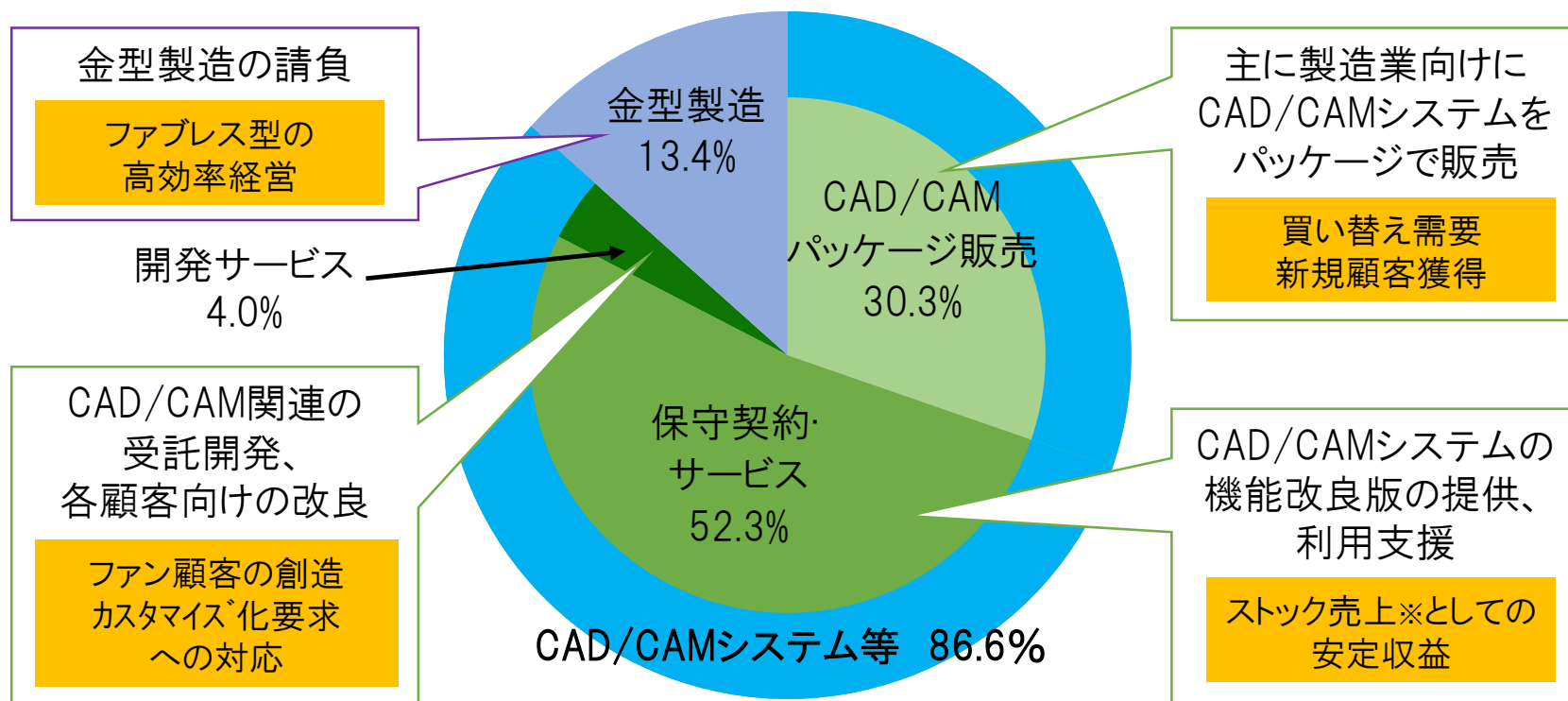
LG電子 サムソン電子 現代自動車
 DOOSAN機械 FOXCONN
 teleflex Medical 友達光電 AMTEK

…その他多数

事業セグメント

主力事業：金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

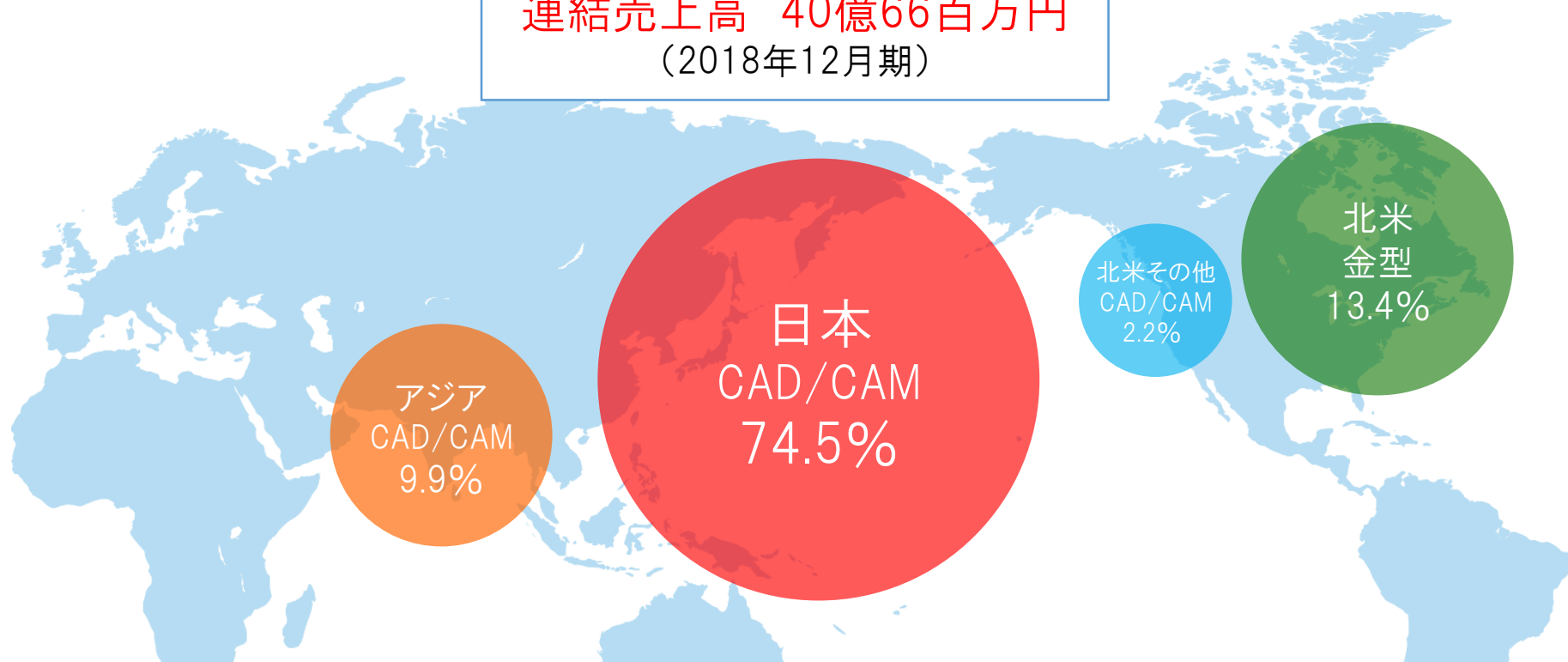
【2018年度連結売上高：40億66百万円】





地域別(仕向地別)売上高

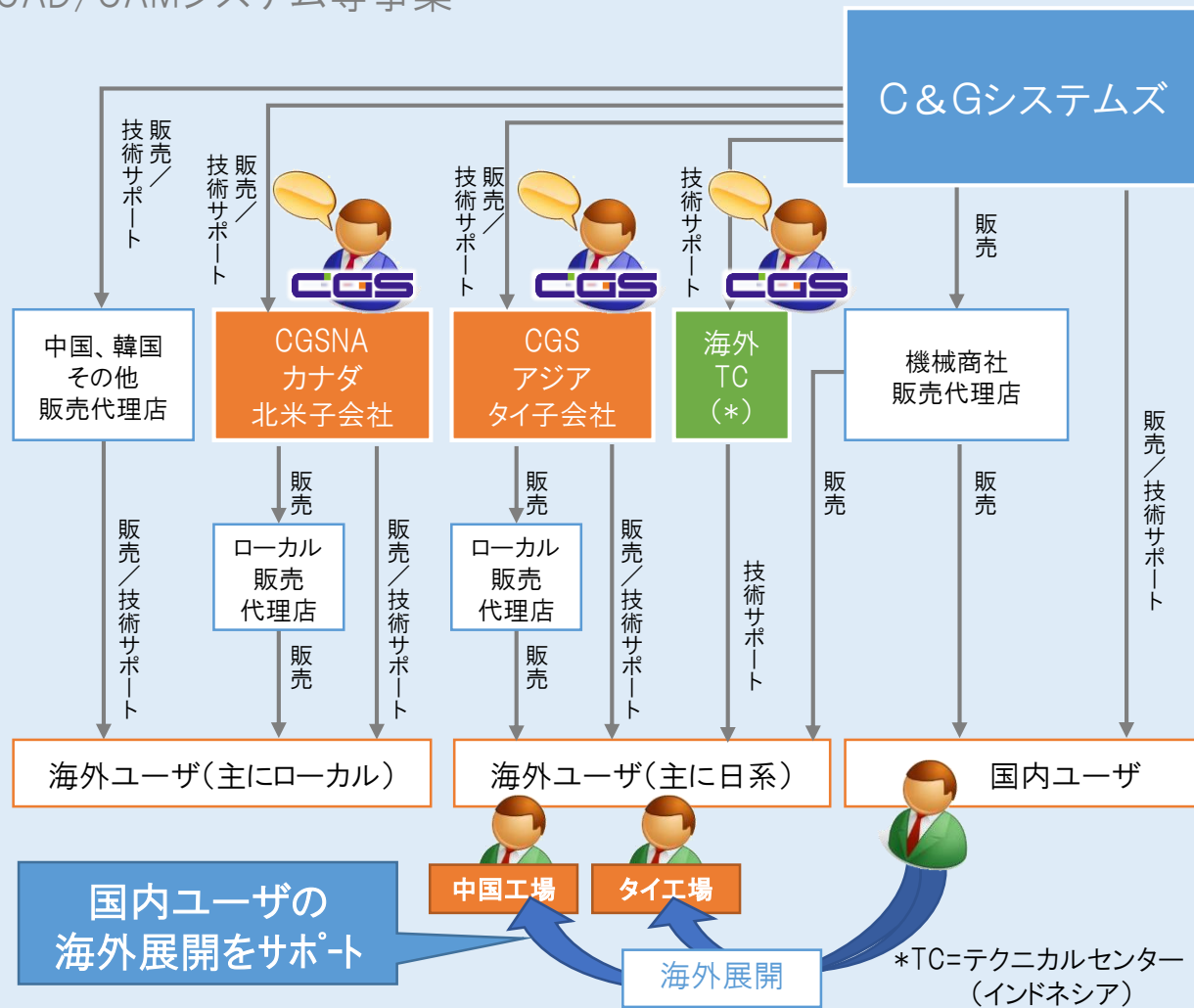
連結売上高 40億66百万円
(2018年12月期)



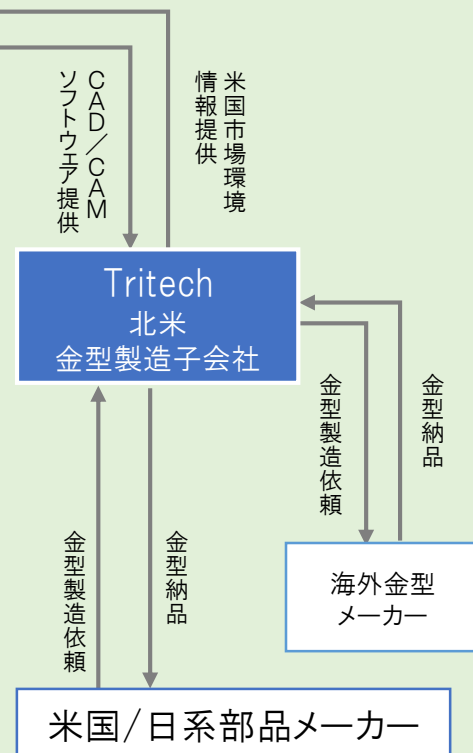
- 海外販売割合(仕向地別)は25.5%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への直接販売が中心
⇒ 今後は海外ローカル企業への間接販売を強化

事業系統図

CAD/CAMシステム等事業

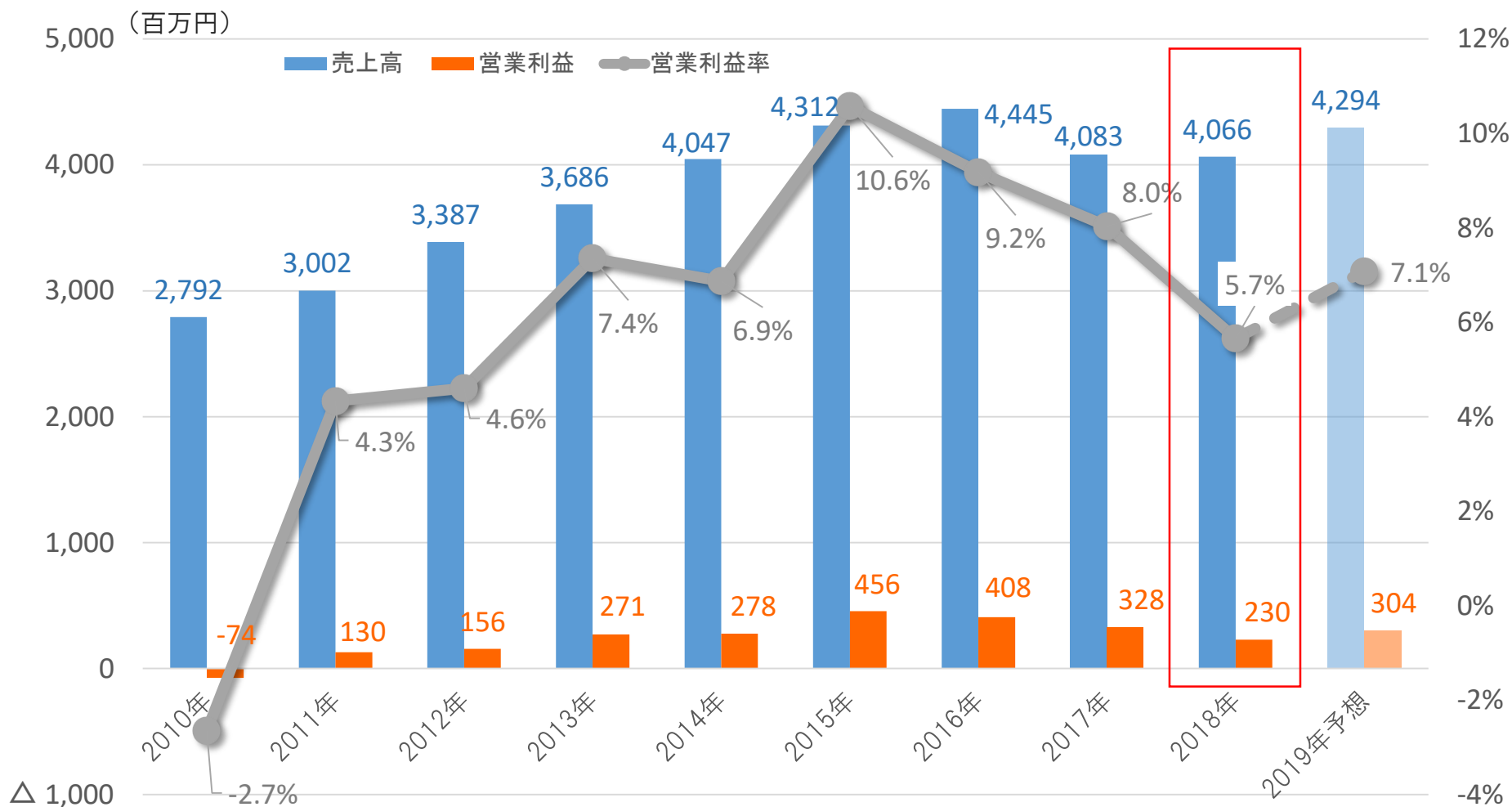


金型製造事業





連結業績の推移



2. 2018年12月期 決算概要

2018年度 決算ハイライト

■ 前期比で減収減益

- ・ 売上高 40億66百万円（前期比 0.4%減）
- ・ 営業利益 2億30百万円（前期比 30.0%減）

■ CAD/CAMシステム等事業

・ 国内

- ✓ 工作機械の納期長期化および製造業向け政府補助金の採択時期の影響等を受け、第2四半期までは厳しい状況で推移したものの下期の業績回復にともない、結果として前年度とほぼ同水準
- ✓ 上期での減益および先行投資としての開発外注費の増加により利益は減少

・ 海外

- ✓ 販売体制強化によりタイ、ベトナム等で堅調な推移、東アジアでは韓国、台湾の伸びが顕著
- ✓ 保守売上は現地技術員によるサポート体制の強化によりインドネシア・ベトナム等の地域で伸長

■ 金型製造事業

- ・ 一昨年の第4四半期以降、主要顧客の新車開発が一時的に大きく減少したことが影響し上期は業績悪化、下期の回復により売上高はほぼ横ばい
- ・ 利益面では米中貿易摩擦の影響により原価率上昇、減益

業績概要

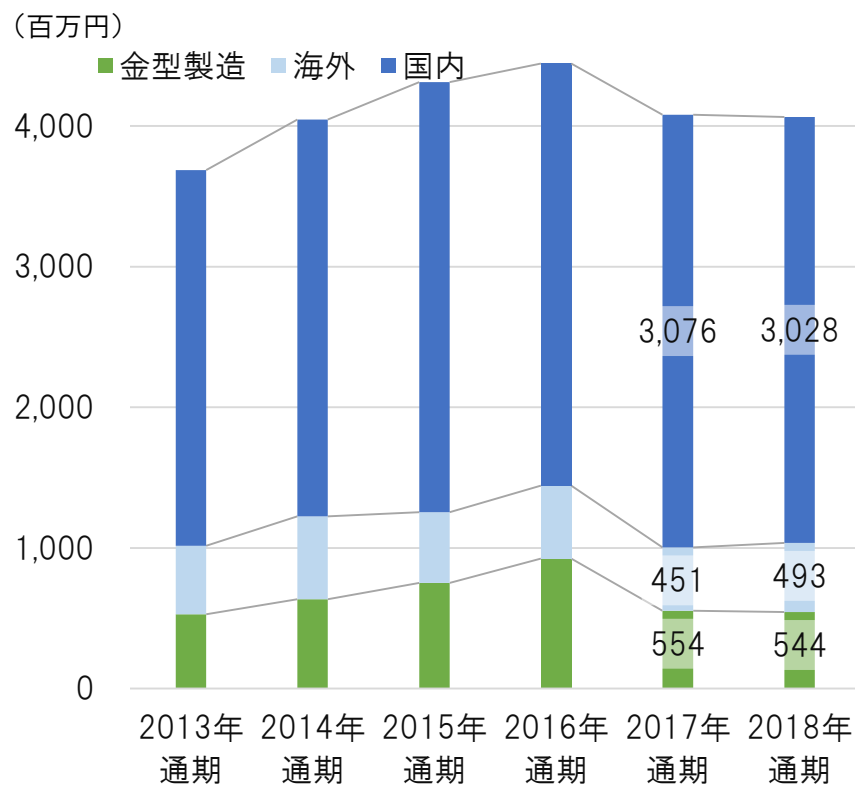
(単位:百万円)

	2018年 実績	構成比	2018年 計画(修正後)	計画比	
				増減額	増減率
売上高	4,066	100.0%	3,929	+137	+3.5%
営業利益	230	5.7%	182	+47	+25.7%
経常利益	252	6.2%	205	+47	+23.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	121	3.0%	100	+20	+20.4%

		2017年 期末	2018年 期末	前期末との 差異割合(%)
為替 レート	ドル	113.00円	111.00円	98.2%
	パーツ	3.45円	3.41円	98.8%
	カナダドル	89.95円	81.52円	90.6%

	2017年 実績	前年同期比	
		増減額	増減率
売上高	4,083	△16	△0.4%
営業利益	328	△98	△30.0%
経常利益	373	△120	△32.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	503	△382	△76.0%

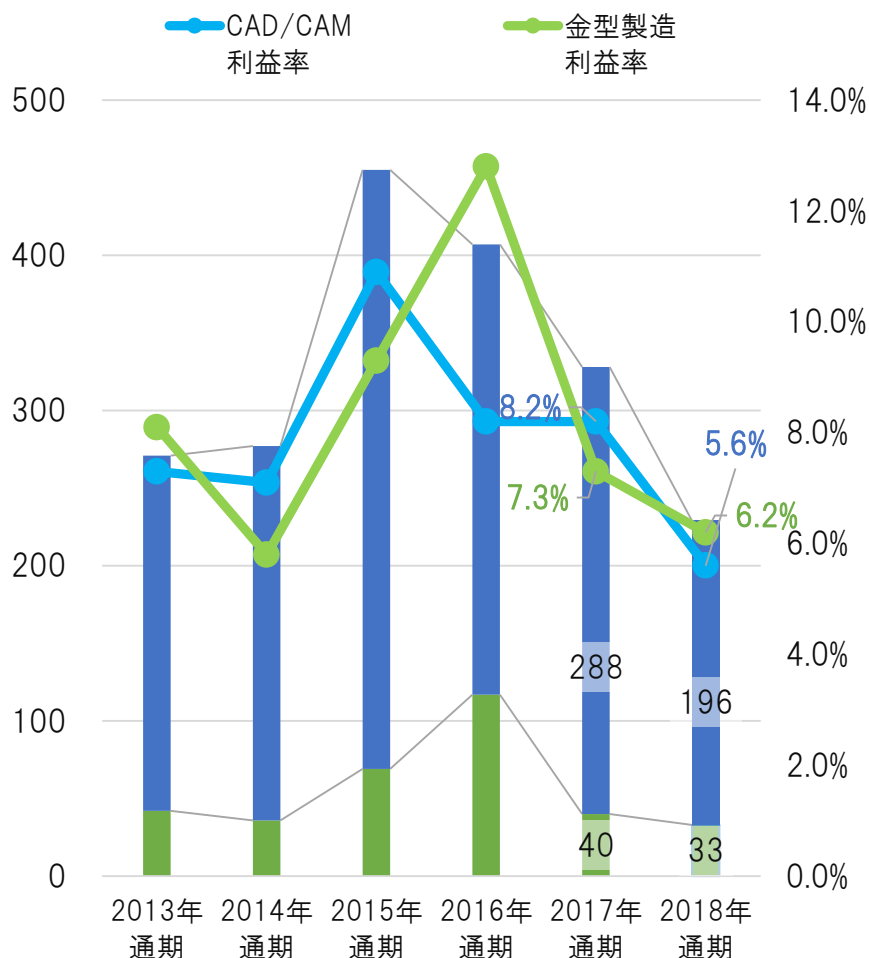
事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)



売上高 (百万円)	2017年 通期	2018年 通期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	3,528	3,522	86.6%	△6	△0.2%
国内	3,076	3,028	74.5%	△48	△1.6%
海外	451	493	12.1%	+41	+9.3%
金型製造	554	544	13.4%	△10	△1.8%
合計	4,083	4,066	100.0%	△16	△0.4%

事業セグメント別利益の推移

(百万円) ■ CAD/CAMシステム等 ■ 金型製造

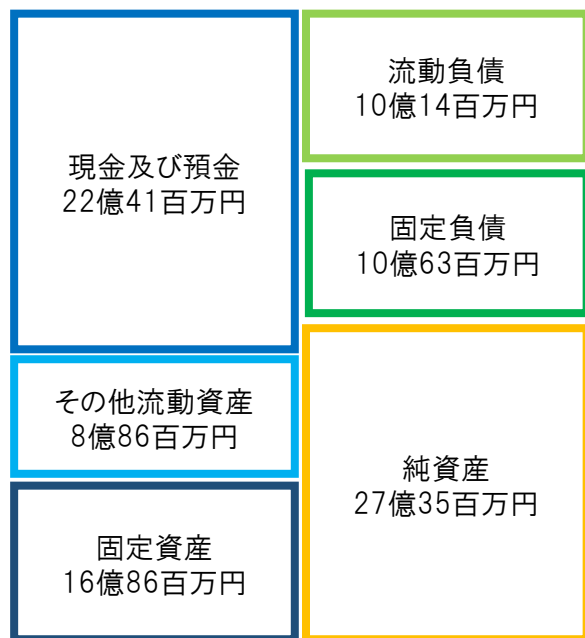


科目 (百万円)	2017年 通期 【実績】	2018年 通期 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	3,528	3,522	△6	△0.2%
営業利益	288	196	△91	△31.9%
営業利益率	8.2%	5.6%		
金型製造				
売上高	554	544	△10	△1.8%
営業利益	40	33	△6	△17.0%
営業利益率	7.3%	6.2%		
合計				
売上高	4,083	4,066	△16	△0.4%
営業利益	328	230	△98	△30.0%
営業利益率	8.1%	5.7%		

財務状況

■ 自己資本比率53.9%

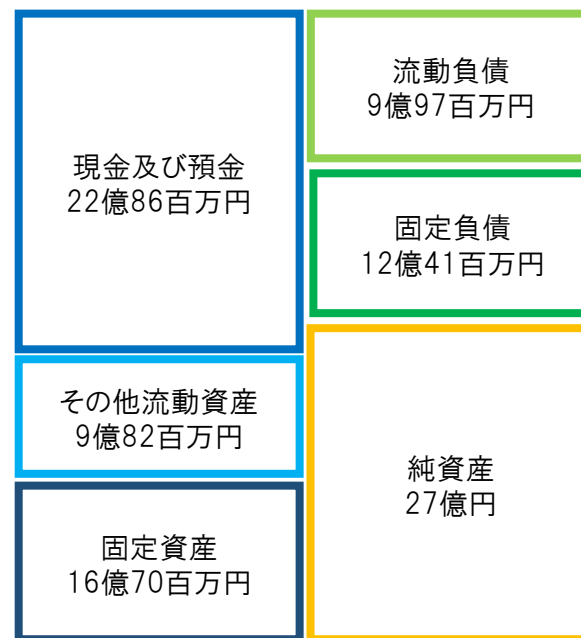
【2017年12月期 期末】



総資本合計 48億14百万円

自己資本比率 55.9%

【2018年12月期 期末】



総資本合計 49億39百万円

自己資本比率 53.9%

主な要因

資産: +1億25百万円 ⇒ 現金及び預金 +45百万円、たな卸資産 +69百万円

負債: +1億60百万円 ⇒ 前受金 +66百万円、社債 +1億円

キャッシュ・フロー計算書

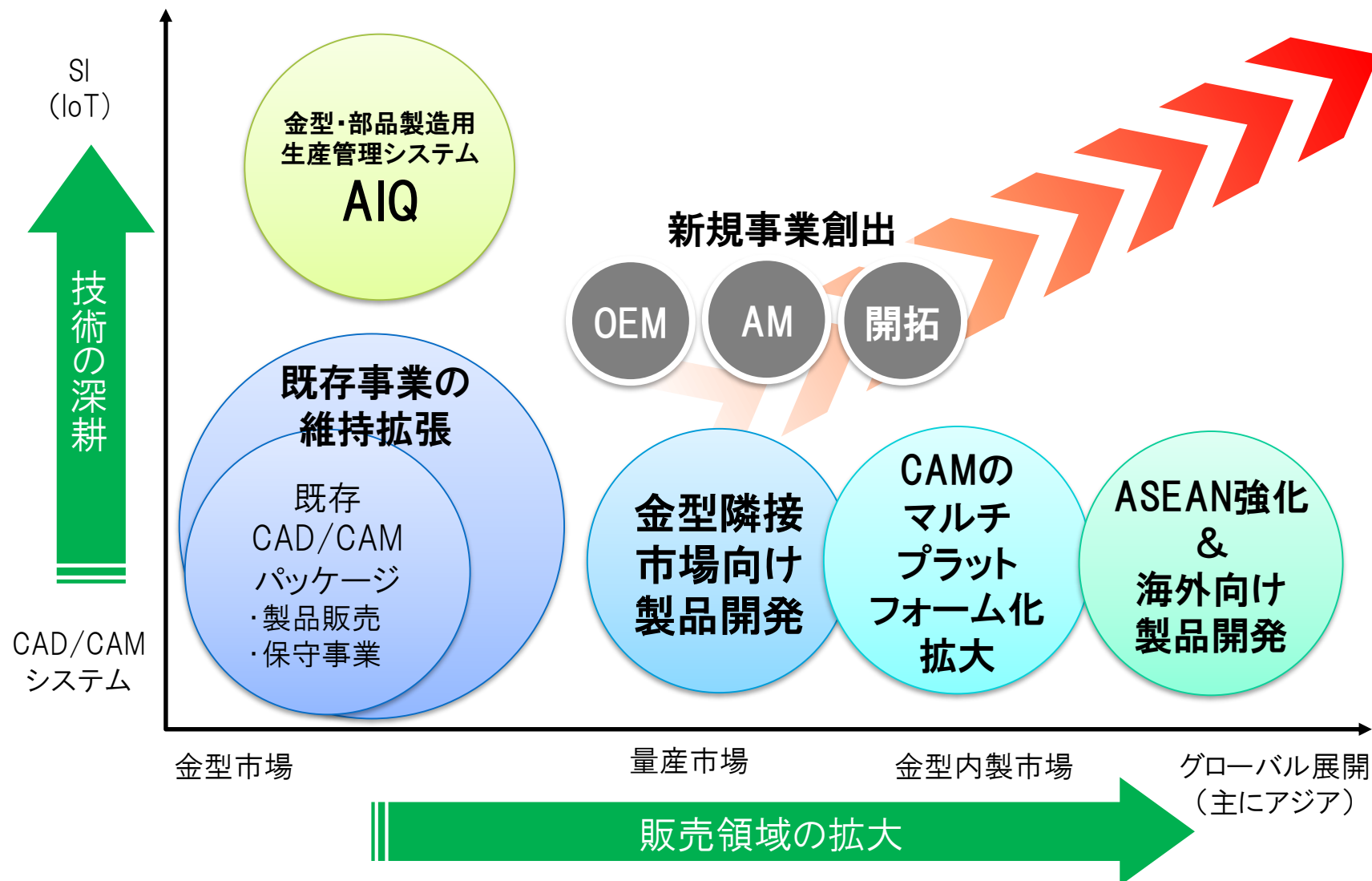
(単位:百万円)

	2017年 通期	2018年 通期	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	534	163	- 税金等調整前当期純利益2億37百万円:各事業の利益貢献 - その他の主な内訳:たな卸資産の増加69百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△86	△70	(減少)有形固定資産の取得52百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△131	△44	(増加)社債の発行による収入1億円 (減少)配当金の支払額1億44百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△8	
現金及び現金同等物の増減額	308	39	
現金及び現金同等物の期首残高	1,828	2,136	
現金及び現金同等物の期末残高	2,136	2,176	
フリーキャッシュフロー	447	92	

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

3. 中長期事業方針

基本成長戦略の骨子



① 既存事業の維持拡張

① 既存事業の維持拡張

営業体制強化

- 日本および海外の日系企業を中心とした展開
- ✓ シェアのさらなる拡大
 - …競合製品から当社製品への切替え促進
 - …販売代理店、生産財メーカーとの連携によるチャネル確保
- ✓ 保守契約率の維持・向上
 - …経営のベースカーゴである保守収益の維持・向上により安定収益を確保

開発体制強化

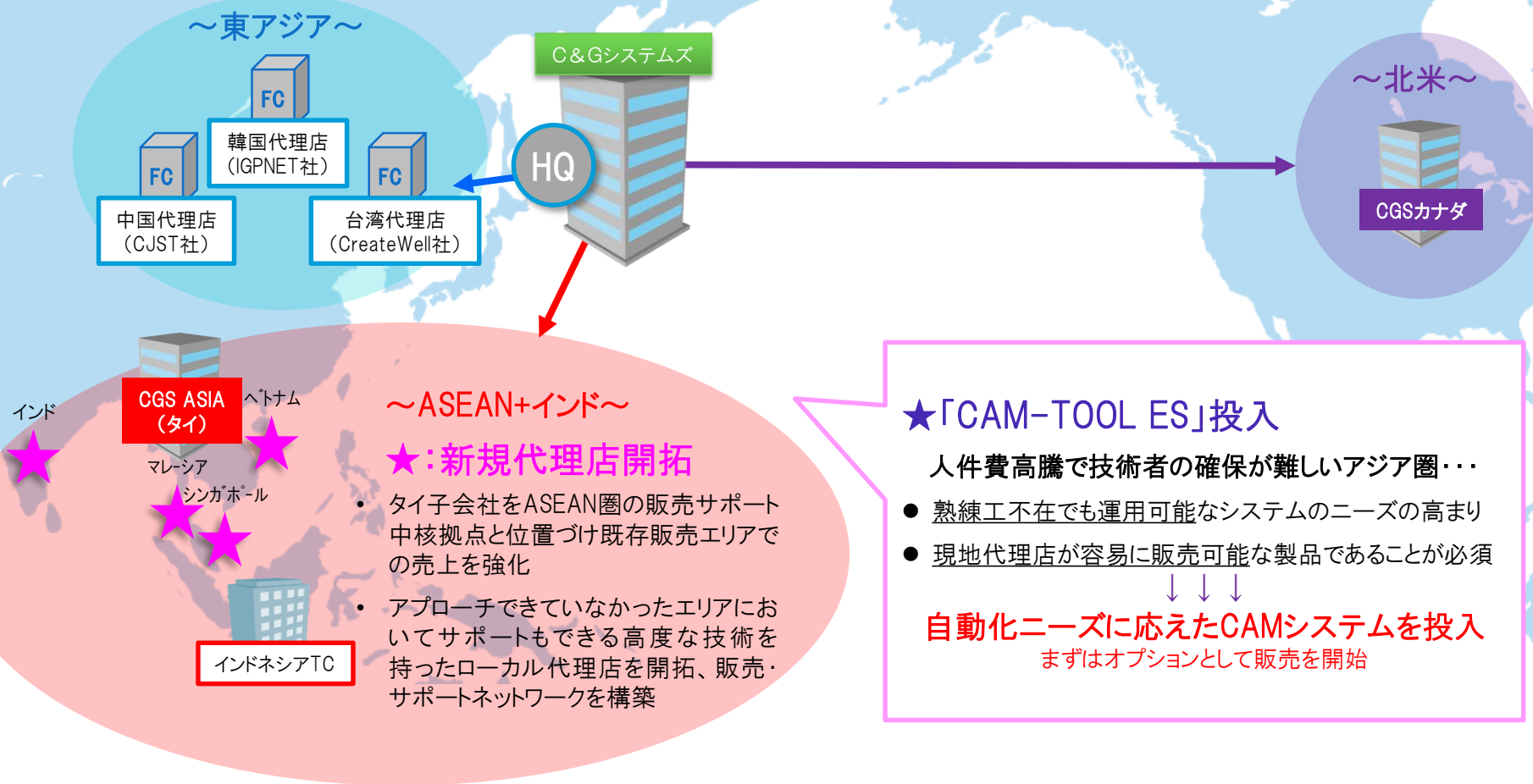
- 主力製品のリニューアルを実施
- ✓ 内部構造の刷新
 - …さらなるバージョンアップに対応していくため内部構造を刷新
- ✓ 操作性の改良による製品競争力の向上
 - …有効な機能をさらに使いやすく改良
- ✓ カスタマイズしやすさの向上
 - …専用CAMの受託開発への対応を容易に



現有事業の守備範囲のさらなる強化

②ASEAN強化 & 海外向け製品開発

④ ASEAN強化 & 海外向け製品

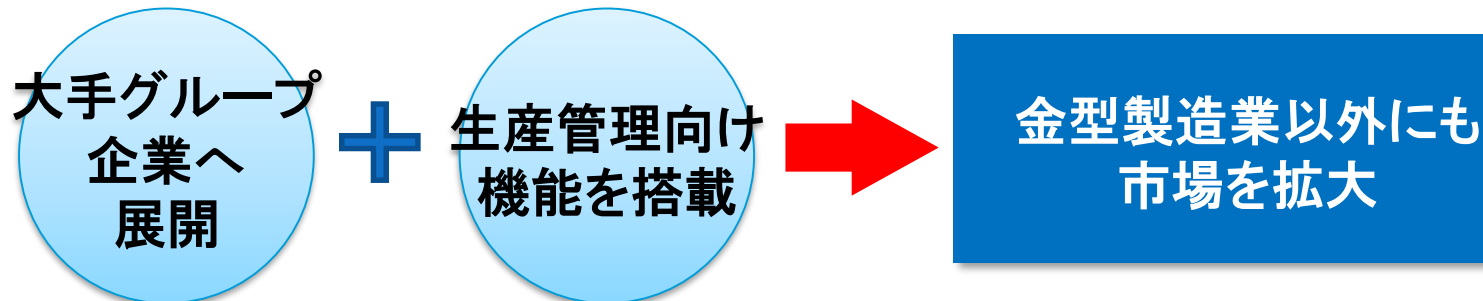


③「AIQ」の拡充

⑤ IoTと連携した金型工程管理システム「AIQ(アイク)」の拡充

■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」

さまざまな企業形態に応じた構成・カスタマイズが可能



特長：国内外・地域完結型のカスタマイズ体制の確率（APIサテライト）

4. 2019年12月期通期業績見通し

通期の見通し

■ 国内

- ✓ 日本経済の好調な企業業績を支えた世界(とりわけ中国)景気減速に伴う景気悪化の懸念
- ✓ 消費税増税の消費マインドへの影響懸念あり

国内での新製品投入、
シェア拡大に向けた活動、
保守更新による
ストック売上の
さらなる向上により
既存事業による収益を
確実に確保

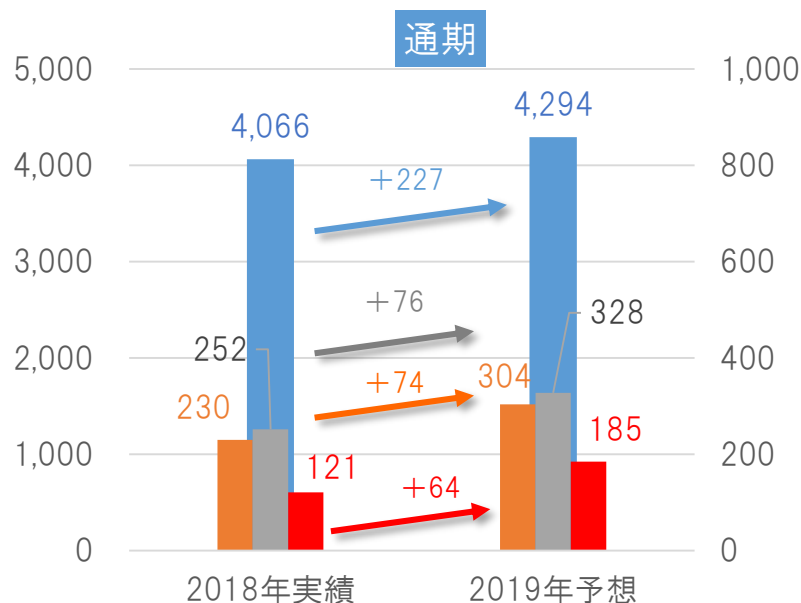
■ 海外

- ✓ 米国／中国：
米中貿易摩擦による中国経済の鈍化、米国経済の不透明感の強まり
- ✓ アジア圏：
 - ASEAN、インドは総じて堅調に推移する見込みも、中国経済鈍化によるアセアン諸国経済への影響懸念あり
 - 韓国での自動化ニーズはさらに強まる見込み
 - 台湾では国内への中国からの製造回帰顕著
- ✓ その他：
Brexit等世界各地の地政学リスク

ASEANを中心に
ローカル販路拡大
およびCAMオプション
製品投入を推進

2019年12月期 連結業績予想

通期では増収増益を見込む



(百万円)	18/12期実績	19/12期予想	増減額	増減率
売上高	4,066	4,294	+227	+5.6%
営業利益	230	304	+74	+32.4%
経常利益	252	328	+76	+30.1%
当期純利益(※)	121	185	+64	+53.4%

(※)＝親会社株主に帰属する当期純利益

- 上期:** ①2018年度上期連結業績が低調に推移
 ②金型製造事業での前年度からの受注確保により上期偏重となる見込み
 ⇒①②により2019年度上期は前年度対比で増収増益となる見込み。
- 下期:** ①CAD/CAMシステム等事業:消費増税も加味した上で増収増益の見込み。
 ②金型製造事業:米中貿易摩擦の影響を勘案し、下期業績は保守的な計画。

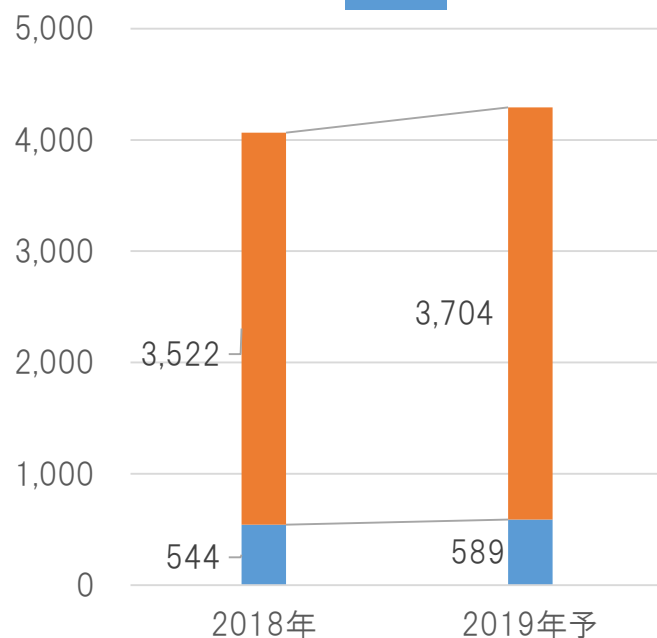
		2018年 期末	2019年度 連結業績予想 想定レート
為替 レート	ドル	111.00円	112.00円
	パーツ	3.41円	3.40円
	カナダドル	81.52円	83.00円



2019年12月期 連結セグメント売上予想

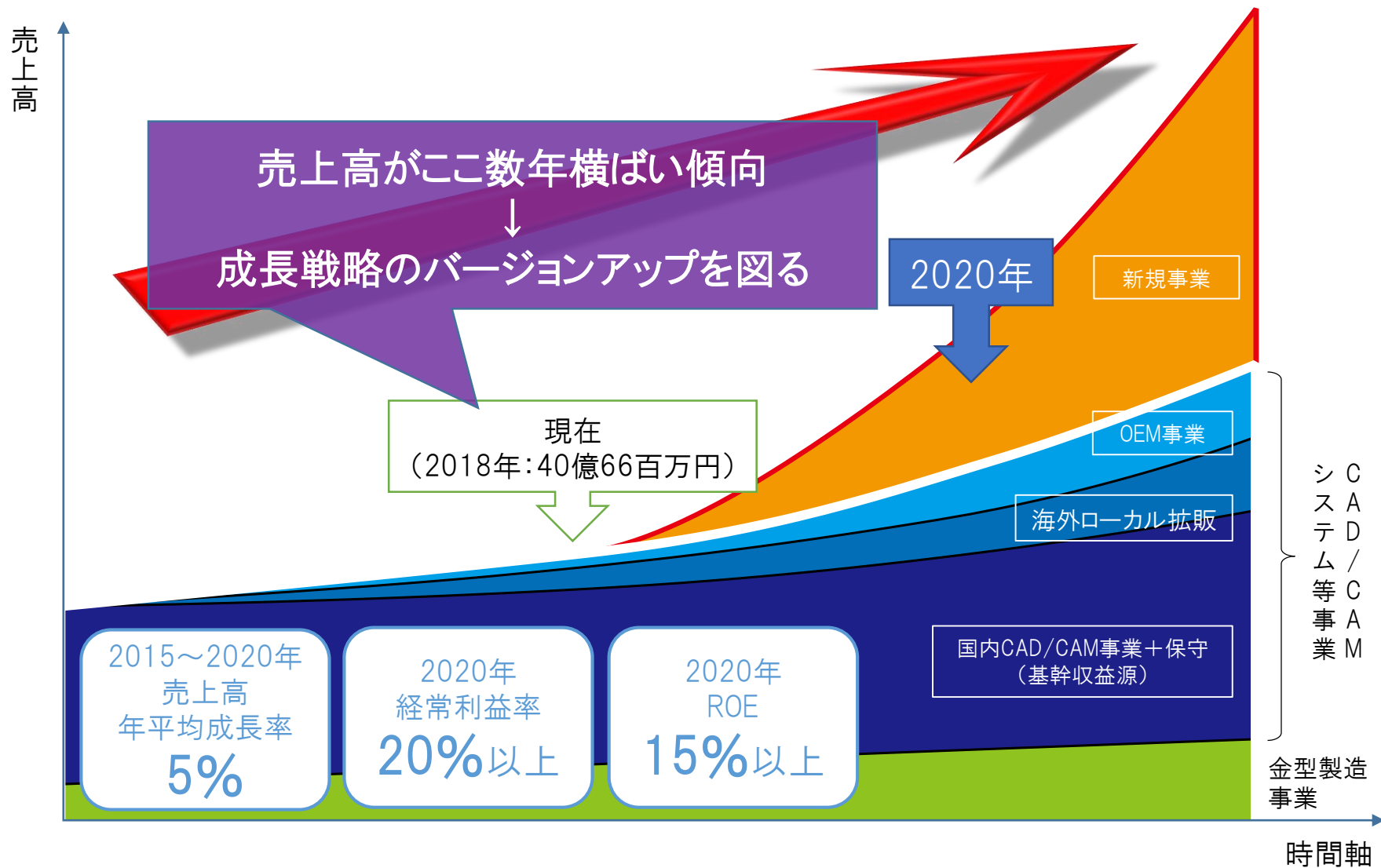
(単位:百万円)

通期



【通期】 (百万円)	18/12期 実績	19/12期 予想	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM システム等	3,522	3,704	86.3%	+182	+5.2%
金型製造	544	589	13.7%	+45	+8.3%
合計	4,066	4,294	100%	+227	+5.6%

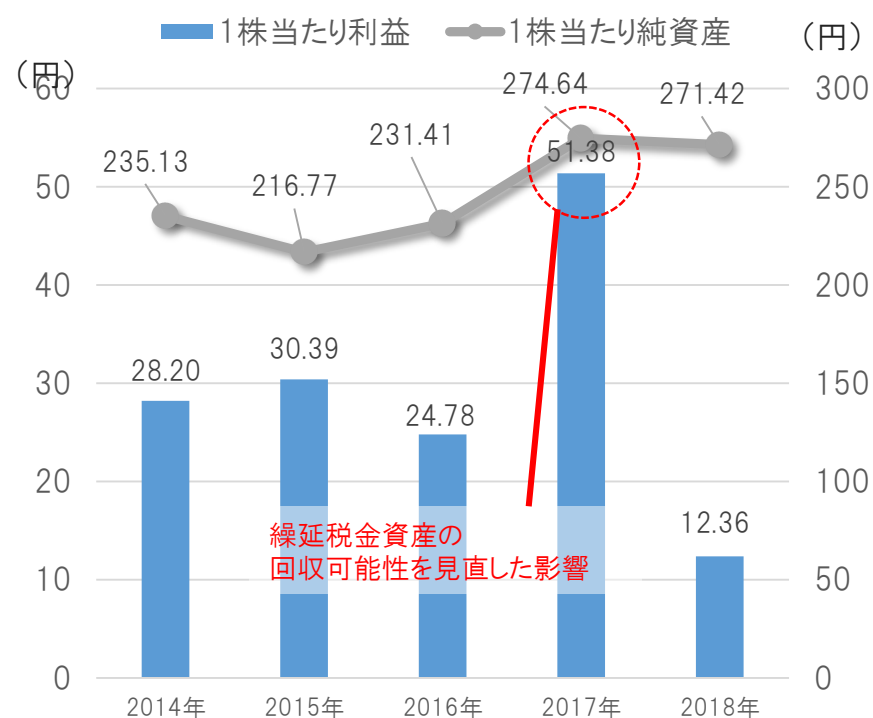
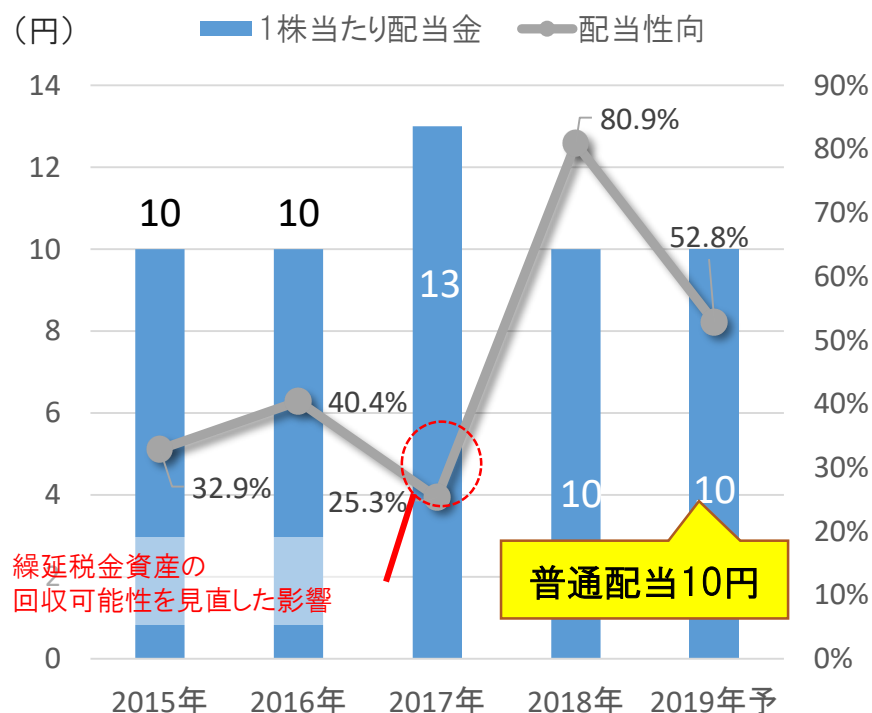
今後の成長イメージ (現有事業の拡張+新規事業)



5. 株主還元について

配当について

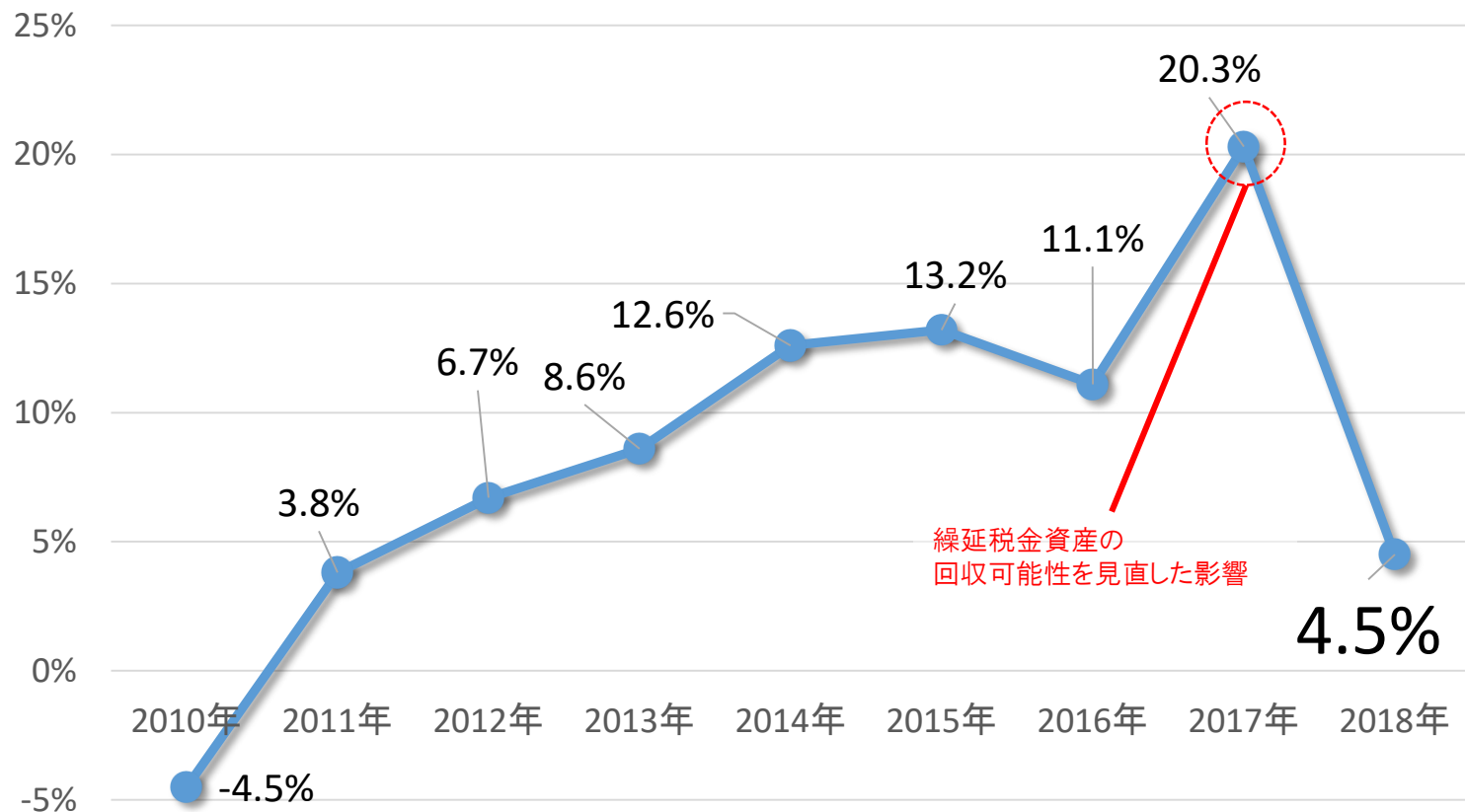
- 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す





(ご参考)ROEの推移

- 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す





(ご参考) 専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM＝「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。 製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API＝「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムをすることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC＝「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAMシステム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス／ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工：2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工：XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工：XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（お問合せ先）

株式会社C&Gシステムズ 管理部 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp